



「市長と語ろう！」
サッポロスマイルトーク」を
10月11日に開催しました

市政に関するテーマについて、市民の皆さんと市長が対話。率直な意見交換を通して、市政に生かすとともに、参加者に市政への理解や関心を深めていただく取り組みです。

第2回 若者の力を まちづくりに生かす

話し合われた内容の一部を紹介

学生から



地域に貢献したいと思っ
ても、何をすれば良いか
分からないという学生が多
いと感じる。北海道では学生が各地に
分散しているが、東京のように、イベ
ントやボランティアの情報が一度に手
に入る場所があればうれしい。

市長から



関心のある事柄について、
情報を一カ所で収集できる
ような場所があることは大
切。市内各所ででき始めていて、市と
しても学生が集まれる場所を作ろうと
各大学への呼びかけなどを行っている。
今後もっと増えていくと良い。



大学生・大学院生の皆さんと市長が「若者とまちづくりとの関わり」などをテーマに話し合いました



若者の地元からの流出は深刻な
問題。若者が地元に残りたい、
戻りたいと思えるまちづくりの
ためには、就職の選択肢を増やすこと
や、地域で若者を応援するようなコ
ミュニティーが必要だと思う。



就職先の選択肢や雇用の受け皿
が増えれば、札
幌あるいは道内に残り
たいと考える学生が増
えると考えている。一
方で、企業の存在や魅
力が、学生に伝わり
切っていない部分もあ
ると感じている。



子ども食堂やフリースクールで
活動する中で、一人で子どもを
育てるのが大変だと話す方や、
学校には通えていないが、子どもと同
世代の子との関わり場を与えたいと
感じている方がいる。横のつながりを
望む声を聞くことが多い。



同じような悩みや経験
を共有できる場所が必
要とされていると感じた。起
業家や学生が情報を求めて集
まる場所も同じで、特定の人
だけではなく、みんなが自由
に集まれる場所が求められて
いると思う。



新MICE施設のよう
な国際的な拠点を造つ
たり、企業を誘致する
ことが、道外から学生を集め
る選択肢を持つことにつな
がるのではないか。



半導体やGX、再生可
能エネルギーに関連す
る産業が雇用を生み出して
いく可能性があり、若い世代の
人たちの活躍する場が増えて
いくと思う。